

平成27年度 新居浜市議会「市民との意見交換会」における意見・要望等及び対応・回答

◎会場での意見・要望

No.	意見・要望等の内容	対応・回答
1	<p>高齢で一人暮らしの方が救急車を呼んだ際に、本人から普段の健康状態や病歴を説明できないときに役立つ「命のバトン」(本人の健康状況や病歴を記載して冷蔵庫に入れておく)を取り入れてほしい。</p> <p>(多喜浜校区 Tさん)</p>	<p>消防本部では平成 23 年7月1日から、市内に住所を有する 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者、身体障害者手帳1級・2級の交付を受けたひとり暮らしの方、身体障害者手帳の交付を受け聴覚障がい認定を受けている方、75 歳以上の高齢者世帯を対象に救急医療情報キット(命のバトン)を無償配布しています。平成 27 年 12 月末現在での配布者数は 2,901 人で、これまでに命のバトンの安心カード(病歴等)が役に立った件数は、全体の約1%にあたる 27 件となっています。救急隊員が命のバトンから患者の正確な情報を得ることにより、的確な救急処置と適切な医療機関への搬送が可能であることから、救命率の向上につながるものと考えており、今後はさらに市民の皆さんへの周知を図るため、市政だよりやホームページ等に掲載するとともに、民生児童委員協議会等の関係団体と連携を図りながら、普及啓発に努めていくとのことです。</p>
2	<p>「命のバトン」についてはとても良い提言だと思うので、市議の方から具体的に現在の状況を聞かせていただきたい。(角野校区 Aさん)</p>	<p>配布対象者の範囲を広げないと、中々普及しないと思われるため、自治会の担当である地域コミュニティ課とも連携しながら、なるべく条件を緩和し、希望される方に配れるよう検討してほしい旨を市に要望しました。</p>
3	<p>この「市民との意見交換会」は市長が開催している「まちづくり校区懇談会」と内容がどう違うのですか。現状では魅力が無く、工夫が必要と思います。</p> <p>(泉川校区 Mさん)</p>	<p>「まちづくり校区懇談会」は市と自治会が共催で開催し、市政の重点事業の説明や校区課題について話し合う場です。「市民との意見交換会」は議会が開催し、市長から議会に提案された議案の審議状況などを報告するとともに、意見交換やアンケートでいただいた意見・要望を政策形成等に反映することを目的としています。魅力がなく工夫が必要という点につきましては、次年度以降、開催方式などを検討し改善していきます。</p>

No.	意見・要望等の内容	対応・回答
4	<p>別子山の3林道の整備が進んでいない。また、昨年設置した水道設備は配水槽に汚泥が溜まるなどいろいろ問題があります。</p> <p>(別子校区 Wさん)</p>	<p>○林道について</p> <p>合併後に整備している太田尾大湯線、保土野線、豊後線の3路線について、太田尾大湯線は平成 16 年で計画路線終了となり、現在2路線の工事が行われていますが、これらの路線も含めた別子山地区の工事状況は別紙1「別子山地区林道概要」のとおりです。平成 23 年度以降、災害復旧工事が中心となり、開設工事が進まなかったのが現状ですが、今後、市では、別子山地区森林整備計画を策定する中で、林道整備も検討していくとのことです。</p> <p>○水道設備について</p> <p>配水槽の底の砂様の異物については、平成 27 年11月に清掃が実施され、あわせて配水槽の流入口に2種類の目の大きさのストレーナーを設置しました。その後、週に1～2回、ストレーナーの清掃を実施し、今後は、この対応で異物の流入を防ぐことができているかを確認し、その結果必要が生じれば新たな方法を考えていくとのことです。なお、2か月に1回実施している飲用井戸一般項目検査において異常は報告されておらず、平成 28 年1月7日時点で異物の堆積はないとのことです。</p>
5	<p>議員定数の削減についてはどうなりましたか。</p> <p>(金栄校区 Cさん)</p>	<p>新居浜市の議員定数については、</p> <p>昭和 61 年 36 人→34 人、平成 13 年 34 人→30 人、</p> <p>平成 19 年 30 人→28 人、平成 22 年 28 人→26 人、</p> <p>と順次削減をしてきました。全国的には人口 10 万人から 15 万人の 104 市の議員定数平均は 25.4 人(平成 26 年 12 月末現在)で、新居浜市はほぼ平均の定数となっています。</p> <p>議会本来の役割である行政のチェック機能と政策提言を果たすことのできる定数について、引き続き検討していきます。</p>
6	<p>小学校の給食はセンター方式ではなく自校方式が良いと思います。(角野校区 Iさん)</p>	<p>現在、市職員で構成する庁内検討委員会で、自校方式とセンター方式での建設費や建設期間、コストなどについて、調査、検証を行っている状況です。庁内での原案決定後、市民の皆さんへも情報提供を行い、パブリックコメントなどで広く意見を求める予定とのことです。</p> <p>これからも引き続き調査研究に取り組み、市から案が提出された時に個々の議員が総合的に判断できるように努めていきます。</p>

No.	意見・要望等の内容	対応・回答
7	<p>各常任委員会の視察先を教えてください。東予地区 4 市の議長会の研修が過去 10 回の内 9 回が北海道なのはなぜですか。(中萩校区 Fさん)</p>	<p>各常任委員会の視察先については別紙2のとおりです。 東予地区市議会議長会の研修については、東予4市の議長会で選定された先進地の視察研修を実施しています。北海道は議会基本条例を全国で最初に制定するなど議会改革において全国的にも進んでいる状況にあるため、研修先として選定されています。</p>
8	<p>学校給食の問題など、議員は市民の声を真摯に聞いて、それを市議会に反映させてほしい。 (中萩校区 Fさん)</p>	<p>市民の代表として、広く市政に関する市民意思の把握に努めることを常に念頭に置き、議員として活動していきます。</p>
9	<p>若い方の収入が少ないので夫婦で働かないといけないため、子供を預かる施設など新居浜市で安心して結婚・子育てが出来る環境づくりをしてください。 (金子校区 Nさん)</p>	<p>子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な取り組みを進めるために「新居浜市子ども・子育て支援事業計画」を平成 27 年度に策定し、各種施策を推進しています。子供を預かる施設としては、平成 26 年 10 月から、小学4年生から6年生の児童を対象に、無料で放課後に教室等で学習支援を行う放課後まなび塾を開設し、現在、新居浜小、宮西小、泉川小、船木小の4校区で実施していますが、今後さらに拡充を図っていきたいとのことです。また、平成 27 年 4 月からは、認定こども園1施設、地域型保育事業所4施設の計5施設の保育施設が増え、保育の利用定員は 131 人増加しました。これらの施設では平成 27 年 10 月から一時保育事業も開始しています。さらに、現在認定こども園への移行について検討している私立幼稚園があり、当該施設や愛媛県と連携して事務協議を重ねているとのことです。</p> <p>放課後まなび塾の拡充に向けて指導者の確保に努めることと、保育士不足により希望する施設に入所できない状態となっているため、保育士の処遇改善など保育士不足の解消に努めることを市に要望しました。</p>

◎ アンケートに記載のあったもの

No.	意見・要望等の内容	対応・回答
1	住民の過半数が後期高齢者。現状の公民館施設を利用するのは難しい。急な階段、段差のトイレ等、エレベーター設置やバリアフリーを進めることが地域生活において公民館の存在大きく生かされるのでは。	<p>公民館は昭和 50 年代に建設されたものが多く、耐震補強工事や屋上防水工事、外壁補修などの施設本体に関わる改修を順次実施しているところ。エレベーター設置などオールバリアフリーにするためには大規模改修や建て替えが必要であり、今すぐ対応することは難しいため、本体改修と同時に実施する内部改修の中でバリアフリーについても検討していくとのことです。</p> <p>今後高齢化が進み車椅子の方が増えることも考えられるため、高齢者や車椅子の方に配慮した整備を検討することを市に要望しました。</p>
2	話にならん。不きょう	議会として真摯に受け止め次年度以降の意見交換会を改善していきます。
3	子供の医療費無料化。同じ県内でもずい分、年齢補助がちがうものですね。	<p>子ども医療費の助成は、各市町の独自施策として制度を設けているため、対象年齢や助成の程度等が異なっています。本市では、中学校卒業までの入院に係る医療費助成、そして小学校卒業までの歯科外来に係る医療費助成と、段階的に拡大してきましたが、平成28年10月診療分からの中学校卒業までの医療費無料化に向け、財源確保や関係機関との調整等を鋭意進めているとのことです。</p>
4	新居浜市は国保料、介護保険料が高いとよく聞きますがどうしてでしょうか。	<p>国保料については、平成 26 年度は県内 11 市中 10 番目となっています。しかし医療費は2番目であり、本来であれば医療費に比例して保険料を上げる必要がありますが、一般会計からの繰入や基金積立金の取崩しなどにより赤字にならないように、やりくりしているとのことです。また、介護保険料については、第5期(平成 24 年度～平成 26 年度)は県内で1番高い状況でしたが、第6期(平成 27 年度～平成 29 年度)は4番目となっています。これは、今までの介護保険料の繰り越し分や介護予防・給付の適正化に努めた結果であり、今後とも、給付と負担のバランス等を勘案しながら、介護予防や給付の適正化に努め、保険料上昇を極力抑えることができるように努めるとのことです。</p>

No.	意見・要望等の内容	対応・回答
5	小学校、中学校の冷房化の予定はないのでしょうか。	小中学校のすべての普通教室に空調設備を設置するには多額の費用がかかり、維持管理費や電気料金の負担も発生するため、検討すべき事案ではありますが、具体的な予定は策定できていないとのことです。今後は、図書室など多くの児童生徒が利用する教室を中心に設置を進めることを検討していくとともに、近隣市の状況や国の補助制度の動向を踏まえ、整備方法を検討していくとのことです。
6	研修旅行の件、なぜ、遠くの場所で研修にはあまり関係ない所に行くのはなぜですか。	視察については各委員会が所管する事務についての先進地を選定して視察先を決定しています。視察先として関西地方等の市も視察しています。
7	下水道工事は今後どの様になるのでしょうか。下泉地区は、いつ頃出来るのか。	<p>現在の公共下水道事業計画区域は、用途地域 1,765 ヘクタールと用途地域に隣接した人口集中地区(DID 地区)の内、特定用途制限地域の市街地周辺地区 602 ヘクタールの計 2,367 ヘクタールと定め、平成 29 年度を目標に整備を進めています。</p> <p>下泉地区は、現事業計画区域に含まれていないことから、平成 29 年度までの工事実施予定とはなっていません。今後は、現事業計画区域外にも整備が急がれ整備効率も高い人口集中地区がまだ広く残っていることから、平成 29 年度に次期の区域拡大を予定しています。</p> <p>なお、拡大区域は、市街地周辺地区を中心に現区域に隣接し人口、住居の密集度や近辺まで幹線が整備されている等、投資効果が高い区域を勘案し、概ね7年間程度で整備できる区域を予定しており、下泉地区で条件に見合う区域については、候補地として来年度から具体的に検討を行っていくとのことです。</p> <p>事業計画区域に指定されれば都市計画税が課税されるので、指定した区域をできる限り早く整備することを市に要望しました。</p>
8	駅前再開発は、今後は近隣に発展するとか聞かどうなるのか。	新居浜駅周辺まちづくり協議会、地元の会合、政策懇談会等で出された意見を踏まえて、駅南地区の今後の方向性が検討される予定です。
9	駅南開発についてどうなのか。	駅南地区の整備については、駅前土地区画整理事業の成果などの検証を行ってから、慎重に検討するよう市に要望しました。
10	是非、地域ごとに開催して下さい。上部2ヶ所・川西・川東	ご要望の件も含めて次年度以降の意見交換会の開催方式を検討していきます。

No.	意見・要望等の内容	対応・回答
11	他市と比べて、夜間スポーツができる場所が極めて少ない。使用手続きも他市より面倒である。社会人スポーツの情報が全くない。(各団体まかせです。)他市より、社会人にとって楽しくない街。	夜間、スポーツができる施設として、市の体育館3箇所、屋外施設2箇所及び市内の小中学校27校のグラウンド・体育館・武道場があります。使用手続きについては、小中学校の施設は使用月の前月 20 日頃までに公民館に申請していただき、調整を行った後、利用回数に応じて使用料を支払っていただく形式になっています。体育館と屋外施設については、各施設の窓口で手続きをしていただいておりますが、予約の方法などについては他市の先進事例などを参考に、改善を検討したいとのことです。またスポーツの情報については、社会人に限らず、ジュニアスポーツなど数多くの団体があるため、今後、体育協会など関係団体と共に情報の一元化を図り、広く情報提供できるよう取り組みたいとのことです。
12	初めて。次回は意見を発言出来る様にしたいと思います。	—
13	体育施設他、将来の広域化を考え、荷内のゴルフ場開発予定地も考えられるのでは。	ご提案があった、阿島地区の土地(山林)については、現在、民間企業が特定の目的に使用するため所有していると伺っており、ご提案の体育施設等の建設については、現状では困難ではないかと考えているとのことです。本市の体育施設については、建設から数十年経過し、老朽化が目立つ施設もあることから、将来的に施設の更新や、集約して整備していくためには、立地可能な候補地の選定は喫緊の課題であるため、総合運動公園構想策定に向けた取組の中で検討するとともに、今後の人口減少を踏まえ、体育施設をはじめとする公共施設の広域利用については、今後における重要な検討課題であると認識しているとのことです。 総合運動公園構想策定については、今後とも住民の意向を十分に聞いて計画策定することを市に要望しました。
14	道路後退線の建築基準法遵守を。防災、近所トラブル回避にも。行政指導でやれないなら、条例化も必要では。〈守っている人がバカみたい。〉	建築基準法に基づく道路内の建築制限については、法令遵守はもとより、地域の利便性の向上や防災上の観点からも、建築前の建築確認申請時に個々へのお願いや、建築関係者等への周知、広報を通じた啓発などを行い、あわせて道路後退部分の非課税措置や舗装を実施しています。また、道路後退を行っていない方については、完成検査受検率が低い傾向にあったことから、完成検査受検率の向上にも努めているとのことです。
15	大きな方針も必要だが、長期で4m道路化の建築基準法に合った行政ができていない。(検査したあとは、ほったらかし)	

No.	意見・要望等の内容	対応・回答
16	市民が安心安全、豊かさを実感できるような市政を議員は選挙期間だけではなく、こまめに地域に足を運んで市民との意見交換をするくらいになって欲しい。	市民の代表として、広く市政に関する市民意思の把握に努めることを常に念頭に置き、議員として活動していきます。
17	靴底から足をかくよう、市民の声が本当に届くのか。	当日会場やアンケートでいただいた意見要望については、所管の委員会に割振り、市の担当部局から事情を調査し、担当課にも意見要望が伝わるしくみとなっています。
18	型通りの報告や答弁には時間を余りかけないで、事前に質問や意見について本音で語り合える場がもてないものでしょうか。	ご要望の件も含めまして次年度以降の意見交換会の開催方式を検討していきます。
19	人口流出、少子化問題について市として長期的な対策をしているのでしょうか。	<p>本市においては、今後、若者の人口流出や少子化の進展により、人口減少のスピードが加速することが予測されており、人口減少問題へ早急かつ長期的に取り組む必要があることから、昨年12月に本市人口の将来展望及び将来の目標を定めた「新居浜市人口ビジョン」と、目標人口を達成するために必要な具体的な施策等を定めた「新居浜市総合戦略」を策定しました。「新居浜市人口ビジョン」においては、本市人口の現状分析を踏まえ、2060年の目標人口を9万人と定め、「新居浜市総合戦略」においては、「ものづくり産業の振興と住友各社との連携強化」、「全国初の企業城下町版CCRC※の導入」、「別子銅山近代化産業遺産を活用した観光の振興」、「子育て支援の充実と健康寿命の延伸」を重点施策に位置付け、今後5年間に取り組む具体的な施策及びその数値目標等を定めています。この「新居浜市総合戦略」に掲げる具体的な施策を着実に実行していくことにより、若者の人口流出や少子化の進展に歯止めをかけ、本市の持続的な発展を目指していきたいと考えているとのことです。（※CCRC:首都圏等に住む高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくり。）</p> <p>住友企業にはしっかりと企業留置をお願いし、連携を図ることを市に要望しました。</p>

No.	意見・要望等の内容	対応・回答
20	議員提案事項等あれば、報告願いたい。	議員提案の主な事項としては平成24年3月議会に提出した議会基本条例の制定があります。今年度では本市の基本構想の策定等を議会の議決すべき事件とするために新居浜市議会の議決事件に関する条例を制定しました。また、請願の採択に伴う意見書の提出についての議会議案は、過去多数提案しています。
21	連合自治会の定例会に地元の議員さんが、毎回出席いただき感謝しております。	—
22	政務調査費を十分に活用して、得られた情報を市民にオープンにして、新居浜市の夢を示してほしい。	政務活動費(旧政務調査費)は議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、本市の場合議員1人あたり月額1万8千円が会派に支給されています。政務活動費で得られた情報等は本会議での一般質問、委員会での質疑等で市政のために活用しています。 今後も市政発展のために政務活動費を役立てていきます。
23	各地区の色々な意見を聞いて、市議員様の対応が不十分な点があった。	対応が不十分という点は真摯に受け止め、次年度以降の意見交換会で改善していきます。
24	意見についての回答はあるが、実際に現地確認の有無の連絡は提案者、発信者になかった。	ご要望の件も含めて次年度以降の意見交換会の開催方式を検討していきます。
25	校区単位でもしてほしい。	ご要望の件も含めて次年度以降の意見交換会の開催方式を検討していきます。
26	報告は事前にPDFで見たかった。議論の時間を増やしたい。	ご要望の件も含めて次年度以降の意見交換会の開催方式を検討していきます。
27	議長会議を北海道でしていることへの返答を本当に後でするとは信じられない。絶対にしないと思う。	会場での意見・要望No7の回答参照。

No.	意見・要望等の内容	対応・回答
28	教育問題に関する議論が余りにも少ない。新居浜は祭り以外に誇れるものが少ないし子どもの愛郷が低いのでないか。	<p>市内の小中学校では、子どもたちの地域を愛する心や地域を誇りに思う心を醸成するために、地域の歴史や文化を学ぶ「ふるさと学習」を推進しています。小学4年生では、社会科で吉岡泉、別子銅山、多喜浜塩田などを学習しており、中学校では、別子銅山の近代化産業遺産を活用した体験型の学習活動を実施しています。今後も、ふるさと学習の効果的な実施や、地域の伝統行事の継承や郷土芸能の保存活動への取り組みなどにより、郷土に対する誇りや郷土愛を育てていきたいとのことです。</p> <p>地域ではさまざまな伝統文化行事が行われているので、その周知に努めるよう市に要望しました。</p>
29	新居浜市＝自治会の放送（行政無線のことか）がウルサイ。対応しないと、人口流出につながると思う。	自治会の広報塔を利用した行政放送については、過去にも苦情があったことから、放送時刻に配慮し、必要最低限に厳選した放送が行われています。現在、市では、全世帯に向けた広報手段が自治会の広報塔を利用した放送しかないことから、内容を精査して効率よい放送に努めるのでご理解をお願いしたいとのことです。
30	駅周辺に公共のレンタルサイクルを設置して欲しい。	現在、新居浜市においては、自転車のまちの復活をめざしてを基本理念に、自転車の利用環境向上に向けたまちづくりを計画していますが、全体計画策定の際に実施したアンケート調査では、歩行者と自転車の通行空間の分離や段差解消、自転車交通ルールやマナーの啓発などについての要望が多く、今のところ、レンタサイクルの設置要望は少ない状況ではありますが、今後、観光や出張、買い物時の需要など新居浜市にあった形でのレンタサイクルのあり方を関係部局と協議しながら検討していきたいとのことです。
31	初めての出会いの交換会に参加できうれしく思いました。議員さん皆さんの暖かい心が伝わりご苦労さまでした。ありがとうございました。	—
32	説明内容は、本議会を傍聴して分かる。市政だよりでも報告された内容であり必要ないのでは。	ご要望の件も含めて次年度以降の意見交換会の開催方式を検討していきます。

No.	意見・要望等の内容	対応・回答
33	子供食堂、集まる場所の大切さ。	<p>子ども食堂は、貧困やネグレクトが原因で欠食がちな子どもや出来合いの食品での孤食が日常になっている子どもに、賑やかな食卓を提供することで、孤立しがちな親子を支援する取り組みで、NPO法人や地域のボランティア団体、個人などが運営主体となって取り組まれています。子ども食堂については、子どもの貧困対策や食育だけでなく、食を通して地域とのつながりを目指すなど、さまざまな可能性があるため、今後、情報収集に努め、必要性等について調査研究していくとのことです。</p>
34	<p>市民：質問するならばもう少し勉強し、調査して望むべき。 議員：もう少し意見交換会なので、まともな答えをすべし。</p>	<p>議員に対するご指摘については真摯に受け止め、次年度以降の意見交換会に反映させていただきます。</p>
35	<p>開催は地域等で、議員は班分けでもっと話し易い場(雰囲気)を望む。</p>	<p>ご要望の件も含めまして次年度以降の意見交換会の開催方式を検討していきます。</p>